

園芸福祉ふくおかネット通信 7

2006.9.1 発行



(大地の恵み～夏の野菜たち)

目次

初級園芸福祉士基礎養成講座	1
いきいき園芸講座	1
指導員育成講座	2
都市緑化月間キャンペーン 2006	2
園芸福祉の庭	3
西短大夏期園芸福祉プログラム	3
<視察報告> 岐阜県の園芸福祉活動について	4
<体験感想文> 勤マルの日 ~ 体験記 ~	5

春日市の「初級園芸福祉士基礎養成講座」中止について

今年度は、2会場での講座開催を目指して取り組んでまいりましたが、受講生の確保が難しくなりましたので、春日市での講座中止を役員会で決定しました。

春日市での受講を希望された方も久留米市の会場で受講されますように会員の皆様からも勧めていただきますようお願いいたします。久留米市の講座は、福岡県緑化センターで予定通り実施します。

<久留米会場>

1, 日 時

前期 平成 18 年 10 月 21 日 (土) 13:00 ~ 17:00 22 日 (日) 10 : 00 ~ 17:00

後期 平成 18 年 11 月 4 日 (土) 11:00 ~ 16:30 5 日 (日) 9 : 30 ~ 17:00

2, 場 所 福岡県緑化センター (久留米市田主丸町益生田 1125)

3, 定 員 40 名 (申し込み順、入金をもって確認)

4, 講 師 特定非営利活動法人 (NPO 法人) 日本園芸福祉普及協会 指定講師

5, 受講料 36,600 円 (資料代・教材 / 花苗代・教本代等)

受講料は、下記の特定非営利活動法人 (NPO 法人) 日本園芸福祉普及協会に振込み。

振込先口座名 : 特定非営利活動法人 日本園芸福祉普及協会
郵便振替・口座番号 : 00580-1-70638

6, お申し込み方法「受講申込書」にご記入の上、下記宛 FAX もしくは郵送して下さい。

FAX : 092-542-8214

郵送先 : 〒811-1347 福岡市南区野多目 1 丁目 9-10
園芸福祉士養成基礎講座担当 山崎 博子

受講に関する問い合わせ先

園芸福祉ふくおかネット事務局 E-mail : engeifukusi.fukuoka@jcom.home.ne.jp

FAX : 092-542-8214

携帯電話 : 090-9567-2704 (山崎) / 090 - 1194 - 6726 (栗木)

~ 福岡県と連携 ~ いきいき園芸講座

園芸福祉の実践活動を自治体と連携して進めていく活動が三重県や岐阜県などで取り組まれています。福岡でも県が主催する「いきいき園芸講座」の運営を今年から「園芸福祉ふくおかネット」で受け持つようになりました。

県内 8 箇所ですべて講座生 20 名、講演 & 実技「和の寄せ植え」を実施します。

これまでに、私達が「園芸福祉全国大会」「都市緑化フェア：アイランド花どんたく」「花と緑のキャンペーン」などを経験してきたノウハウを講座に生かせるよう準備中です。園芸福祉活動が県内に広く展開されるように、皆さんが講師や実技指導員としてご協力をお願いいたします。

前期の日程は、10月2日(月)・3日(火)福岡市中央区

10月6日(金)久留米市

11月8日(水)小倉区

11月9日(木)八幡区で開催

後期の日程は、後日決定。

指導員育成講座

昨年、73日間行われた「第22回全国都市緑化ふくおかフェア」の期間中、園芸福祉ふくおかネットの企画として、会場内で「こけ玉講座」や「押し花講座」を開催致しました。多くの会員の方がスタッフとして参加し、最後までやり遂げた達成感と共に大きな自信を得られたことと思います。

今年度も、「第22回全国都市緑化ふくおかフェア」の開催趣旨を継承し、春、植物園で行われた「花と緑のキャンペーン 2006」に続き、秋には「都市緑化月間キャンペーン 2006」が福岡市庁舎ふれあい広場で行われます。

園芸福祉ふくおかネットでは、秋のキャンペーンも、園芸福祉活動の一環として「こけ玉講座」や「押し花講座」を企画しています。

指導員育成講座は、このようなイベントの時に、参加者に作り方を指導しながら「植物と関わって幸せになる」そんな植物の持つ効用を伝えてくださる方を育成する講座です。

今回のご案内で、押し花指導員育成講座に8名、こけ玉指導員育成講座に11名の方からお申し込みをいただきました。受講された方は、是非、今後のイベントにも参加され、押し花やこけ玉を通しての園芸福祉活動を実践していただきたいと思えます。

担当：黒瀬(090-8626-1586)



都市緑化月間キャンペーン 2006

「都市緑化月間キャンペーン 2006」は、ビルに囲まれた都心での開催になりますので、園芸福祉ふくおかネットの企画として、講座や飲み物販売のテントの前に花を飾ってホッと心が和むような空間づくりを試みたいと思っております。また、3m×5mのスペースに設置する2基のレイズドベッド(立ち上がり花壇)では、「五感で楽しむ園芸」をテーマに、見たり、触ったり、香りを楽しんだり…障がいのある方も、ない方も、子どもも、お年よりも、誰にでも楽しめるよう計画し、目の不自由な方にも楽しんでいただけるよう点字での説明も考えています。

園芸福祉ふくおかネットでは、このようなイベントに際して、「植物と関わって幸せになる」そんな園芸福祉の心を伝えられる活動を行いたいと思っております。

日時:9月28日(木)~10月4日(水) 10時~17時 雨天決行

場所:福岡市庁舎ふれあい広場(中央区天神1丁目8-1)

イベント内容

- ✿ 園芸福祉活動のパネル展示 (9月28日 ~ 10月4日の7日間展示)
- ✿ レイズドベッドの展示 (9月28日 ~ 10月4日の7日間展示)
- ✿ 押し花講座(押し花のカレンダーづくり) 参加費500円 (以下は、9月30日(土)と10月1日(日)の2日間実施します)
- ✿ こけ玉講座(こけ玉づくり) 参加費500円
- ✿ むり絵(体験と販売を検討中)
- ✿ 草笛教室(草笛愛好会に依頼)
- ✿ 飲み物販売 ハーブティー(フレッシュ) 温・冷 1杯100円
マンゴージュース 1杯100円

スタッフ

園芸福祉活動を各地で推し進める上でとても良い体験の場となりますので、フォローアップを兼ねてスタッフとして参加されることをお勧めします。

これまでのイベントにスタッフとして参加された方、まだスタッフとして参加されたことのない方、この機会に参加してみませんか？

担当：黒瀬（090-8626-1586）

アイランドシティ中央公園 園芸福祉の庭

昨年度のアイランド花どんたく会場の「園芸福祉の庭」を引き続き ふくおかネットが手入れすることになりました。花どんたく期間中は、押し花・こけ玉作りなどでにぎわった場所が、広く市民の癒しの広場としてそのまま残ります。現在庭の一部が造園工事のため残念ながら全面的にはオープンできません。しかしながらセンサリーガーデンを中心にレイズッドベッドなどは、早急に整備する必要があります。ハーブや花苗で見栄えのある花壇に仕上げ、ふくおかネットの存在をアピールしましょう。



9月9日(土)の「ボランティア体験の日」に花苗の植え替え、花壇整備など行い、市民の皆さんにいつでも足を運んでいただける

庭園に仕上げる予定です。「園芸福祉の庭」として人々の心に響く庭園になるよう、みんなで頑張りましょう。

「園芸福祉の庭」の企画・運営・花壇・造園などについてご意見をお寄せください。

担当責任者：古荘 浩士 e-mail: furusyou@jcom.home.ne.jp

西日本短期大学 社会福祉学科の夏期「園芸福祉」プログラム

古荘 浩士

西短大で9月後期に学生が「園芸福祉」を科目として受けることが出来るようになり、黒木助教授（社会福祉科）の「園芸福祉」の実践が8月に3つ行われました。ネットに協力依頼がありましたので、青崎、古荘の2名が担当しました。

8月20日(日) 西短大のオープンキャンパスで、高松雅子先生（園芸福祉士・広島国際大学講師）による公開講座「園芸福祉の世界」が開かれました。

園芸福祉の基本と活動事例の紹介の後、25名の参加者が4グループに分かれ、1つの設問について討議を行い、結果を発表しました。次は「視覚障害の人と楽しむ園芸」の実践です。2人1組に分かれ、1人がアイマスクを着け、もう1人が花やハーブを説明しながら植える。この福祉体験を学生たちは笑顔いっぱい楽しみながら学びました。

8月22日(火) 博多区の特別養護老人ホームでの介護夏期実習は、お年寄りといかにレクリエーションを楽しむかが課題。今回「園芸福祉の実践」は、ホームより6名のお年寄りが参加。

学生4名、職員2名で、食堂の一角にプランターを並べ、花・ハーブの寄せ植えをしました。ネットより4名がサポーターとして皆さんに植え方の指導をしました。



参加したお年寄りは始めのうちは不安顔でしたが、花の苗や匂いがするハーブを1つ1つ植え込んでいくうち、喜びに変わり、お互いに時間を忘れるひと時を過ごしました。

8月23日(水) 城南区の介護老人保健施設では、実施場所が6階建ての屋上で、レイズドベッドやプランターなどガーデニングがされている所で実践しました。学生2名に、お年寄り5名、職員は見学者が多数。ネットから4名がサポーターとして参加。最初は、何かなんだか分からなかったお年寄りや職員もいつの間にか参加し、



花や土に触れて感触を楽しんだりして喜んでいました。最後にはあまりの楽しさからか、お年寄りが炭坑節を歌い踊りました。職員の方より感謝の言葉と園芸福祉のパンフレットの要望もありました。

今回の活動については、学生が初めての取り組みということの不安、相手方の園芸福祉の理解の程度、夏の花の無い時期の花探しなどなど、色々苦労しましたが、何か、お年寄りの笑顔と学生や職員の良かったという表情見て、こちらも疲れが取れました。

<視察報告> 岐阜県の園芸福祉活動について

西川 直喜

8月17, 18日 福岡県農政部における「ふくおかの花活用方策研究会」委員として岐阜県を訪れた。

岐阜県では平成14年から県の事業として園芸福祉活動に取り組んでおり、日本園芸福祉普及協会の「園芸福祉養成講座」の受講生268名を「岐阜県園芸福祉サポーター」として知事が認定し、その7割が初級園芸福祉士として活躍中。現在は県立国際園芸アカデミーの生涯学習部門のカリキュラムとして引き継がれており、去年は120名、今年には85名の申し込みがあったそうである。

一方で岐阜県園芸福祉協議会が県内の福祉施設、病院など約700箇所に意向調査を行い、それを基に「園芸福祉サポーター」に活動場所を紹介するなどの仲介による普及定着を図り、現在は同協議会から独立したNPO法人岐阜県園芸福祉協会が実務を担っているということである。

養成講座の受講生が多い要因のひとつは個人の費用負担が軽いことにあると思われる。県が講座委託費を負担するので、個人費用が4,000円で受講できるのはうらやましい限りである。

また、受講資格に「講座終了後、県内の医療、福祉施設や地域花壇などの現場で、園芸福祉サポーターとして確実に活動できる見込みのある方」という記述があり、目的意識がより明確化した人の受講を促している。また認定者は知事への活動報告が求められており、制度の完成度をより高くしている。

岐阜県では花需要の創出策として生産主体のノウハウとは違った形で取り組んだ花の利用に関するソフトの充実が図られている。福岡県でもこれを参考にして「花活用方策」に取り組む、そこに私たちが力添えできることはとてもありがたいことだと思う。

岐阜県が行っている「養成」と「普及」を参考にして、福岡県の独自性を生かしたやり方で取り組んでもらえるよう力を尽くしたいと思った視察であった。

< 体験感想文 >

勤マルの日？

「勤マルの日」とは「勤労者マルチライフ支援事業」(厚生省) ボランティア体験プログラムのひとつです。

7月23日は、1000人の参加を目標に福岡市内で5つのボランティア体験活動が行われました。 ネットの会員も九州がんセンター内の癒しの庭で、花壇の手入れにボランティアで参加して汗をながし、園芸福祉士として交流しました。

勤マルの日 一斉ボランティア体験に参加して

柴田 史代

さる7月23日九州がんセンター内の「森脇記念庭園」癒しの庭で花壇の手入れに参加させて頂きました。以前より関心をよせていた庭での作業ですのでワクワクしました。

当日は、朝からどんよりとした天気が心配でしたが、10時前には大勢の方が受付を済ませていました。役員の挨拶が終わり、この花壇をボランティアで管理してある「花の仲間たち」のスタッフ1名、園芸福祉ふくおかネットの会員1名、一般参加のボランティア数名で1グループを作り花壇の手入れを始めました。花壇はスタッフの皆さんがそれぞれの区画を担当して手入れされていますが、7月の長雨で雑草が頭を出しています。先ず草抜きから作業をはじめ花苗を植え込んでいきました。

私のグループは、20代、30代の女性と30代、40代の男性の方々に「この草は抜いてもいいのですか？」こぼれ種でそだっている苗と雑草の違いにおろおろ。すると「4cm以下は全部抜いていいですよ」とスタッフの方からアドバイス。みんなで作業をすればあっという間にすっきり。そして空いている所に花苗を植え込みました。「肥料はこんな風に入れるのですネ、勉強になりました」と20代の女性。「僕の所はマンションでベランダは少しだけプランターで花を増やそうかな」と30代の男性。おしゃべりをしながら楽しく作業が進みましたが、雨が落ちてきましたので終わりにしました。もう少し楽しい時間を共有したかったです。

「花の仲間たち」の方が「ありがとうございました、又お願いしますね」私「こちらこそありがとうございました」(日曜日に又参加出来ればいいなあ)と心でつぶやきました。短い時間でしたが、初めてお会いする方々と楽しい時間を共有出来たことに満足です。皆様雨の中お疲れ様でした。楽しかったですネ。

九州がんセンターで行われた「勤マルの日」に参加して

渡部 一成

ボランティア活動に、これだけ沢山の人が関心を持ち参加されたことに驚きました。

作業開始時は曇り空、雨に見舞われ予定通りに作業が進行できるだろうかと心配でしたが、チームリーダーの適切なアドバイスで、花壇の草を抜いたり、花柄を摘んだり、花苗を植えつけるなどしてきれいな花壇に。予定された作業もスムーズに終了し、チームワークの良さに感心しました。

作業終了後の皆さんは満足気な顔々、これからも時間の許す限り参加しようと思いません。スタッフの皆さんご苦労様でした。

謹マルの日：次回は9月9日(土)にアイランドシティ中央公園「園芸福祉の庭」で開催します。この「園芸福祉の庭」は福岡市の許可や助成金を得て、「園芸福祉ふくおかネット」が手入れ、植え付けなどの管理をしています。



園芸福祉ふくおかネット運営委員会は、「あすみん」で毎月第三土曜日午後3時から



あなたが体験された園芸福祉活動の様子や感想、体験記などをお寄せください。
園芸福祉の観点から、考えや思いを文章などで表現し、伝えることはとても意義のあることですし、自分向上の良い機会と思います。

園 芸 福 祉 ふ く お か ネ ッ ト 通 信

発行 園 芸 福 祉 ふ く お か ネ ッ ト 事 務 局
代 表 西 川 直 喜

E - m a i l : engeifukusi.fukuoka@jcom.home.ne.jp

編 集 谷 口 博 隆